

令和六年度 一学期終業式 代表児童の言葉

わたしは、一学期漢字の五十問テストをがんばりました。一度予習をした時、書けない漢字がいくつかあったけれど、毎朝早く起きて書く練習をつみ重ねていくと、テストの前日にはすべての漢字を書けるようになりました。

テストが返された時、百点で、予習することは大切だとあらためて思いました。また、漢字の分からない友だちに教えてあげると「ありがとう。わかりやすい説明だったよ。」と言ってくれて次のテストでもがんばろうと思いました。

だから二学期、がんばりたいことは二つあります。一つ目は、あいさつです。私は同じ学年の友だちや話したことのある先生にはあいさつができるけれど、話したことのない先生やちがう学年の友だちとは、あいさつをかけられてもはずかしくてだまってしまう時があります。二学期は、知らない先生、ちがう学年の友だちにも自分からあいさつをして、気もちのよい毎日を送りたいです。

二つ目は、算数のテストです。わたしは算数がとくいではあるけれど、テストの時、できる問題をてきとうにやって、まちがった答えを書いて、あまりよい点数ではないことが多かったので、二学期の算数のテストの時はどんな問題でもていねいにいいて、ときおわったら見直しをして、百点をとりたいです。